

大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 SNS media&consulting 株式会社

御名前 堀江 貴文 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、すべきではないこと、後世に残すべきもの等)

- テクノロジー等の進化により寿命が延び、昔は50~60歳代で老化していると評価された人々が若返っているが、健康寿命については、人間関係などを固定しないなどの生き方が大事になる。万博でやらなくてはいけないのは、そういったことに対する意識の低い人々に働きかけるか。
- そのためには、健康に対するインセンティブが働くような仕組みを構築し、習慣を生み出すきっかけ作りが必要。また、人間関係を固定化しないためにも、例えば同じ時期に万博に来た人が仲良くなるというような出会いを生み出すことができるとよい。友達が多ければ多いほど、人間関係が鍛えられ、認知症の予防に効果があるのではないか。
- 具体的にはある程度強制的にマッチングさせるようなゲーミフィケーションをし、国籍、性別、年齢を問わず、チームを作って参加するようなしなかけをすれば、万博で友達ができ、交流が生まれ、万博が新たなコミュニティを作る場になる。
- 商業施設に面白みがない。選定のプロセスに課題があるのではないか。大阪にはおいしい食べ物がたくさんあるので、万博をきっかけに大阪にあるおいしい食べ物のお店に誘導するようなしなかけができるとよい。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs 達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

- 全員がクリエイターとなるようなコンテンツ。コンセプトデザインなども、全員でつくりあげるものにすれば、つくりあげる過程も含めて、すべてのプロセスがイベントになる。一部の人が、似たようなメンバーでつくりあげるのはよくない。
- 万博は、そこで得られる体験が大切。ハードにお金をかけるのではなく、体験やソフトパワー重視のコンテンツ。

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

(例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等)

- 人の動きのコントロールが必要。スマホに万博アプリを入れ、最適の動きをリコメンデーションしてくれるものができるのではないか。パーソナルアシスタントによりコントロールされるものができれば、人の動きをデザインできる。AI を使った会場内の適正配置システムも可能ではないか。

4. そのほか、御自由に御意見を申し上げます。

- IoTの世界では、ラスベガスで開催されるCESという家電の見本市が非常に盛り上がっている。現在は、家電だけでなく、ドローンやバーチャルなども進出している。万博がきっかけで、ヘルステックの見本市のようなものが開催され、CESのように盛り上げるようになればいい。ラスベガスで見本市がたくさん開催されるのは、カジノが隣接し、宿泊施設やコンベンションホールが整っていることが大きい。国際会議や見本市に家族同伴で訪れ、お父さんが仕事中は、家族がIRで楽しむようなスタイルが考えられる。
- 収益性の観点から、ダイナミックなチケットプライシングができるといい。世界の多くのエンターテイメント産業ではVIP向けのチケットを用意する一方、一般的なチケットの価格を抑えている。万博でも100万円、200万円のチケットを用意し、海上チャーターを確保することができないか。
- 万博期間中は規制を緩和し、民泊をもっと提供し、体験型のプログラムを提供できれば、関西圏の方たちは作る側にまわることになり、もっとロイヤリティが上がると期待できる。
- 経済効果を最大限にあげる施策が大事。オフィシャルグッズなどを大阪・関西でライセンスフリーにできればいい。物販は、エリアの外でやるべき。基本ライセンスフリーとすれば、おもしろいものができる。万博期間中に関西各地でいろんな万博が開かれるようにすれば盛り上がる。

以上